



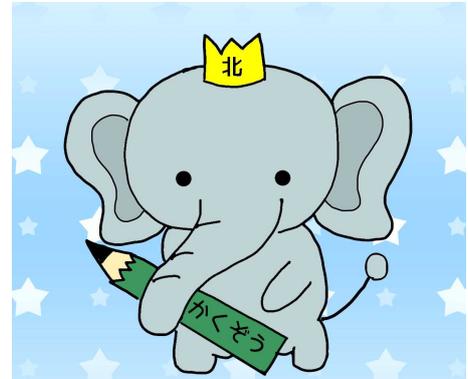
## 楽しく・進んで学ぶために マスコット決定!!

【北浦小学校マスコット】かくぞうくん

本校の課題解決のため、3年間にわたり「児童が自分の思いや考えを表現する力の育成」のテーマのもと、児童一人一人の表現する力の向上に努めてきました。そうした中、どうして「かくぞうくん」がマスコットとなり、着ぐるみまで作成するようになったか説明させていただきます。

### 【1年目】児童の発表の場の確保

全校朝会で、スポーツ少年団表彰や個人の資格検定等の報告を設けました。朝会の際に少年団の代表が「僕たち〇〇少年団は、△△大会で優勝しました。これからも県大会目指して頑張ります。」、資格をとった児童は「私は〇〇検定で△△の3級に合格しました。」等、全校児童の前での報告は、頑張った児童の自信となり、発表自体にも慣れていきました。児童朝会では、各委員会毎の活動報告を計画的に行いました。各委員会とも、趣向を凝らして、劇にしたり、映像を活用したりと発表することへの抵抗がなくなり、演じている方も観ている方も楽しい雰囲気になっていきました。



「着ぐるみ」イメージ

### 【2年目】授業での話し合い場の確保

授業においては、1年目から児童に自分の思いや考えをしっかりとめるようにすることに取り組みました。時間がかかりましたが、児童一人一人が自分の思いや考えをノート等を書くこと、その自分の思いや考えを友達に伝えたり、友達の考えを聴いたりすることを毎時間の授業で意識して取り組んだのが2年目でした。その結果、多くの児童が自分の思いや考えをもち、書いたり、発表したりできるようになっていきました。学力診断テストや全国学力学習状況調査等でも県平均と同レベルに達するなどの成果が表れました。我々、教職員にとっても自分たちの取組に自信がもてるようになってきました。



### 【3年目】授業の振り返り・北浦タイム「かくぞうくんタイムの導入」

2年目後半から、授業のまとめ・振り返りの時間をしっかり確保し、授業のねらいに対する振り返りを書く活動に取り組みました。「振り返りのポイント」を一覧にし、最初はパターン化して記述することから始めました。今年度に入ってから、ポイントを示せばほぼ全児童が振り返りを書けるまでに成長してきました。また、開校時から行っている昼の「北浦タイム」(学び直しの時間)に週1回、「かくぞうくんタイム」を設けました。低学年は感想等を書く、中学年は条件をつけた記述文を書く、高学年は字数制限と条件をつけた記述文を書く等、発達段階に応じて取り組みました。3学期には「かくぞうくんコンテスト」を開き、自主的な活動にも取り組みました。

これらは、「児童一人一人に表現する力を育ててあげたい」という本校職員が一丸となった取組

です。子供たちに楽しく取り組んでもらいたいという思いで「かくぞうくんシール」(右上イラスト)を作成したところ児童にとっても好評でした。児童・職員に自然と「かくぞうくん」という言葉やキャラクターが浸透していきました。そこで、「かくぞうくん」を本校マスコットにし、今後の「かくぞうくんコンテスト」「授業参観や運動会等の学校行事」等でかくぞうくんに活躍してもらいたいという思いで、着ぐるみを作成することになりました。上記4社の協賛をいただき、作成させていただきます。お披露目は4月になる予定です。私自身は「かくぞうくん」着ぐるみには会うことはできないかもしれませんが、これまで以上に、児童が楽しく「かくぞうくんタイム」に取り組み、表現する力がより高まっていくことを期待しています。

#### 【マスコット着ぐるみ作成協賛】※五十音順

- ・株式会社 久米工務店 様
- ・株式会社 久力製作所 様
- ・有限会社 マツヤ 様
- ・有限会社 溝口工業 様